

第 1 2 回行財政改革推進本部会議の概要

- 1 日 時 平成 2 1 年 4 月 2 1 日 (火) 1 5 時 0 0 分 ~ 1 7 時 0 0 分
- 2 場 所 本庁 (3 階) F 会議室
- 3 出席者 井上町長、江上副町長、道津教育長 外
- 4 議 題 公共施設の見直しについて
- 5 会議内容 (定例課長会議を切替えて実施)

公共施設の見直しについて

- ・大平集会所の方針は地域に対する無償貸し付けとする。
- ・地域集会所等の「地域移譲」の考え方は、財産権の移譲のほか、無償貸し付け、無償での管理委任、指定管理等の方法も含み、実質的に地域が無償にて管理する方法も含めた概念とすること。
- ・東浦地区運動場は、地域より町へ返還する旨の申し入れがされている。有効利用の方向で検討することとし、「地域移譲」の方針を改め、「休止」扱いとする。

事務事業・業務見直しについて

- ・町長より、これでも 4 0 0 人達成できるかどうかわからない。とにかく単純労務等、民間の活力を付けるためにも、外に出せる業務はどんどん外に出して欲しい。
- ・もはや行政が、この島を引っ張る時代ではなく、今後は民間が島をリードしなければならない。民間にできることは民間にお願いし、民間の活力を伸ばすことが大事。
- ・過剰サービスを見直すことも必要ではあるが、住民にどう理解してもらうかが難しい。この見直し計画を通して、早い段階で住民に周知し、理解を得ながら進める努力が必要である。
- ・草刈り等の業務は真っ先に廃止すべき。
- ・4 0 0 人の基準はどうか。何故 4 0 0 人なのかを検証して欲しい。4 0 0 人のハードルは決して高くはない。類団と比較すると更に切り込む必要も考えられる。
- ・交付税の 1 本算定が終われば約 1 7 億円の交付税(人件費の約半分)が無くなる。平成 2 8 年から漸減に平成 3 1 年には無くなる。
- ・コールセンターは、五島市・新上五島町・小値賀町で共同で取り組む計画がある。
内容について情報化推進室に確認すること。